

# 道路ネットワークの機能強化について

【担当省庁】国土交通省

## 〔スマートインターチェンジ及びアクセス道路の整備〕

○新名神高速道路の全線開通（令和5年度予定）の効果を府域に行き渡せるため、城陽スマートインターチェンジ及び関連するアクセス道路整備に必要な予算を確保いただきたい。

## 〔将来に向けた道路ネットワーク計画の策定〕

○重要物流道路等の追加指定に際しては、地方の声を十分に反映していただくとともに、それらの道路の機能強化及び重点整備が図られるよう、必要な予算を確保いただきたい。

○堀川通（国道1号）の交通円滑化等に向けた新たなバイパストンネルの可能性等の調査を進め、早期に計画を策定していただきたい。

○京都都市圏の交通課題（亀岡方面や大津方面等）について、交通集中の緩和や災害時のリダンダンシー確保のため、具体化に向けたルート検討等の調査を進めていただきたい。

## 【現状・課題等】

- ・新名神高速道路アクセス道路事業（補助事業）については、新名神高速道路の整備効果を最大限発揮するため、全線開通と同時供用が必要
- ・重要物流道路、代替・補完路の追加指定にあたっては、府管理道路等の指定が見込まれるが、地方の意見を十分に反映した選定が必要
- ・堀川通（国道1号）の慢性的な渋滞に対して、国において短期的対策を検討中であるが、引き続き新設バイパストンネル等の長期的対策の検討が必要
- ・亀岡方面、大津方面ともに、過去に高速道路と一般道の同時通行止めが複数回発生しており、特に、国道9号（亀岡市～京都市）においては、平成30年7月豪雨時に京都縦貫自動車道及び国道9号の通行止めに加え、JR山陰線の運転見合わせもあり、往来が不可能となった事案あり
- ・亀岡方面、大津方面ともに市街地において慢性的な渋滞が発生しており、抜本的対策としてのバイパス道路の整備が必要

京都府 の担当課	建設交通部 道路計画課 (075-414-5246)
-------------	----------------------------

【国の事業等】

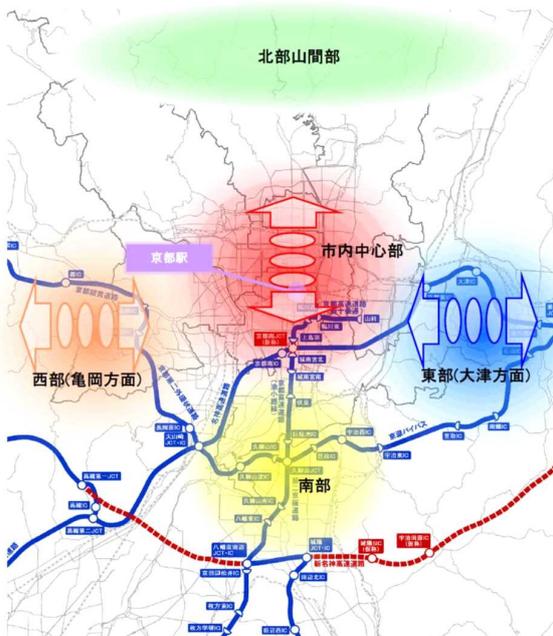
■概算要求 [国土交通省]

- ▶ 直轄事業 改築その他 12,791 億円 (令和元年度予算 10,728 億円)
- ▶ 補助事業 IC等アクセス 1,363 億円 (令和元年度予算 1,106 億円)

■新名神高速道路周辺のアクセス道路整備



■京都都市圏における将来道路ネットワーク



・平成 30 年 1 月将来道路ネットワーク研究会 (事務局：京都市) において、「京都市の将来を見据えた道路ネットワークの在り方」をとりまとめ

・大津方面及び亀岡方面については、厳しい財政状況を踏まえた事業手法や受益に応じた費用負担の在り方に課題があり、今後の周辺地域のまちづくりや道路状況の変化への対応、広域ネットワークとの連携強化等、様々な視点からの検討を進めていく必要があるが、交通集中の緩和や災害時におけるリダンダンシーの確保等のため、東部 (大津方面) 及び西部 (亀岡方面) を結ぶ災害に強い道路について整備の必要性が高い、とされた。